



The 80th Anniversary

おかげさまで  
創立80周年  
広島国際学院



上瀬野キャンパス  
(大学院現代社会学研究科  
現代社会学部  
自動車短期大学部)



中野キャンパス  
(大学院工学研究科・工学部・情報学部)



海田キャンパス  
(高等学校 普通科・総合システム科)

第三者評価で「適格」

特集 魅力ある教育・学園への努力実る	
短期大学部	2-3
卒業式	大学・高校 3
特集 「頑張る在学生」	4-5
特色ある教育	工学部・情報学部 6
独創的な研究	工学部・情報学部 7
進行形の「問題」に取り組む	現代社会学部 8
いつでも情熱と挑戦を!	短期大学部 9
高校から発信	10-11
本学院学生生徒の活躍	12
隠善さん巨人入団	13
同窓会役員交代のお知らせ	13
平成18年度 大学進路状況	14
学内合同企業セミナー	14
平成18年度 短大・高校進路状況	15
創立80周年記念ロゴマーク決まる	16
読書感想文コンクール審査結果	16
第3回中学校軟式野球大会	16
今後の主な行事予定	16

広報  
第69号  
平成19年4月1日発行



# 魅力ある教育・学園への努力実る

平成18年度第三者評価適格認定短期大学  
(認証評価機関:財団法人短期大学基準協会)

自動車短期大学部



ACCREDITED  
2006

適格認定マーク

## 1. 準備から受審まで

自動車短期大学部 ALO\* 益永 茂治

既報(本広報第68号)の通りに第三者評価を受審しましたが、このほど正式に「適格」と評価されました。

今から3年前、平成16年4月1日付けで認証評価制度の導入が施行されましたが、これは大学等の教育・研究水準の向上に資するため①教育・研究、組織・運営、施設・設備等の状況について自ら点検・評価を行いその結果を公表する(自己点検・評価報告書)。②上記①に加え各大学の教育・研究等の総合的な状況について7年以内ごとに文部科学省から認可された認証評価機関による評価を受けることが義務付けられました。第三者評価とは、評価を受けようとする大学から独立した評価機関により専門的・客観的立場に立った評価を受けることを指し、評価の結果を公表することによって広く社会の理解と支持

を得ることを目的としています。従って、本短大がいち早く受審し「適格」とされたことは、日常の教育活動とその実績が客観的に認められたことであり、大変名誉なことと思っています。

本短大では、平成12年から4回に渡り自己点検・評価報告書を公表するなど改革・改善に努めて来ました。今回、短期大学基準協会の第三者評価を受けるに当り、平素の活動を総括しながら全教職員が一致協力・分担して定められた様式の「平成17年度自己点検・評価報告書」を作成し提出しました。これを、加盟各短大から選任された学長を含む短大教育の専門家である評価員5名からなる本学評価チームが先ず書面審査を行い、続いて本短大での面接調査に来訪されました。その際、「自己点検・評価報告書」を熟読された評価チームの方々から3日間に渡り、膨大な参考資料の精査と学内視察を経て、定められた10の領域の32項目について暖かくも、詳細かつ厳しい内容の面接調査を受けました。これらの審査結果が短期大学基準協会の理事会で審議の上12月20日に内示され、今回正式に確定いたしました。中でも学生にかかわる領域で「(1)優れていると判断される事項」として以下の評価を得ました。

### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

○法人寄附行為の規定に、建学の精神に則り人間愛に基づく教育を行うことが法人の目的であると明記されており、建学の精神に基づいた教育への強い思いが認められる。

### 評価領域Ⅱ 教育の内容

○教育ツールおよび授業法の共有活動、習熟度別授業の実施、資格取得支援のための個人指導、再履修科目の設定など教育効果向上の努力が組織的に行われている。

○授業アンケートによる学生の満足度に配慮し、授業改善の認識と質的改善を目指し、分かり易い授業への不断の努力をしている。

### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

○教育目標に設定されている資格取得(自動車整備士国家試験)支援に対して全学で力を入れており、合格率は二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、一級自動車整備士とも毎年ほぼ全員合格の実績をあげている。

### 評価領域Ⅴ 学生支援

○多様な委員会や組織による全学的で精力的な学生支援が行われている。特に、個々の学生を受け持つチューター制度により、学生に対する入学支援、学習支援、進路支援が懇切丁寧かつ精力的に推進され、大きな実績を上げている。

このように、本短大が平素掲げる分かり易い授業ときめ細かい指導の内容を十分に把握された上で、正に本短大が目指すところを第三者の目で公正に評価頂いたことは、私達教職員にとって大きな励みとなりました。

\*ALO(Accreditation Liaison Officer)：第三者評価連絡調整責任者



個人指導:国家試験勉強会の様子

## 2. 教育改善に向けて、弛みなき前進へ

自動車短期大学部長 廣瀬 裕

前項にある通り、全体として優れているという評価を受けました。その一方、今回の自己点検の過程や評価員の方によるコメントから、さらに上を目指すためのいくつかの改善課題も見つかりました。

特に、「教育目標の達成度と教育の効果」という領域では、本学が行ってきた教育活動は高く評価されましたが、「学校で身につけた力が職業人として、社会人としてどのように役立ったと見ているのか」、卒業生の意見を反映して教育内容を向上・充実させるため、卒業生アンケートへの取り組みを拡大せよとの助言がありました。これに対しては、自己点検・評価の過程で明らかになったことでもあり、早速、実行計画を進めようとしています。さらに、学園生活への満足度についても、卒業時のアンケートだけでなく、在学時の意見も踏まえた満足度向上活動を広げようとしています。



実習風景:エンジンの分解・組立

これから、授業や学生生活の中で学生一人ひとりが成長の実感を得られる、「魅力ある教育・魅力ある学園」を実現しようとしている私達にとって、これらの課題克服は次へ向けての大きなステップであると強く認識することが出来ました。この認識を踏まえて、「相互評価」など他の短大関係者の視点を加えながら、自己点検・評価活動を行い、改革・改善を継続し、より魅力ある教育の提供と学生満足度の向上に短大教職員が一丸となって挑戦して行こうと考えています。

# 卒業式

祝福・激励…あたたかく見送られ

### 【高校】

穏やかな春の日が降り注ぐ3月1日、本校体育館にて第58回卒業証書授与式が盛大に挙行されました。吹奏楽部の演奏が響き渡る中、卒業生が入場。見事な生花のコサージュが全員の胸につけられ、会場はかぐわしい花の香りで一杯になりました。

長野政義校長は式辞で「自分の良さを見つけ、それを絶えず磨きながら自分らしく生きること。人々との出会いを大切に、思いやりの心で接するように。苦難や失敗を周りのせいにせず、勇気を持ち前進してください」と述べ、495名の門出を祝福しました。



高校卒業式

### 【大学・短大】

3月19日には、中野キャンパス体育館で平成18年度大学・短大合同卒業証書・学位記授与式が厳粛に執り行われました。ほとんどの卒業生がダークスーツという中、あでやかな振り袖姿がひとときわ明るく照り映えていました。

450名の卒業生に今村詮<sup>あきら</sup>学長が「社会の中で人の役に立つことに生き甲斐を見つけ、生き甲斐に根ざした小さな行動を積み重ねて、平和で幸せに暮らせる日本や世界を作っていくよう期待します」と饒の言葉を贈りました。恩師や旧友との別れを惜しみつつ、それぞれの夢と希望を胸に学舎を後にしました。



大学・短大卒業式



# 特集

## キャンパスライフさまざま

— 頑張る在学生 —

本学院は1927年の創立から今年で80周年になります。この間に高校から短大、大学と規模が拡大、学科も大幅に増えました。各学科を代表して学生生徒1名ずつに、今頑張っていることを語ってもらいました。

### スポーツ、地域交流、収穫の喜び

### 工学部

電気電子工学科  
4年 大林 裕幸さん

私は放送通信研究会(VOD)に所属しています。一時は部員が3人しかおらず存続が危ぶまれましたが、必死の勧誘が実を結び、現在は女子4人を含む9人で活動しています。昨年は広島国際学院高校の軽音楽部の皆さんと協力して文化祭の音響を行い、逆に大学の音響室に高校生を招くなどして大学と高校の交流ができました。また、難病団体の発表会など地域のイベントへの協力依頼も増え、学外のボランティア活動にも力を入れています。大学や地域に少しでも還元できるよう、先輩から受け継いだ技術やノウハウを後輩に伝えていきます。依頼があればすぐに飛んでいきますので、是非よろしくお願いします。



機械工学科  
4年 西田 周平さん



私は中学時代に卓球をしていました。進学後も続けたかったのですが、高校・大学ともにクラブに恵まれず、半ば諦めかけていました。本学OBで先輩でもある父が、下宿近辺にある海田町の卓球クラブを紹介してくれました。初めて参加したときは非常に緊張しましたが、クラブの皆さんは歓迎してくれ、互いにすぐ打ち解けて卓球を楽しむことができるようになりました。現在は畑<sup>はたか</sup>質体協のクラブに所属し、地域の子供たちに卓球を教える活動をするなど、たくさんの人たちと交流しています。

これから、就職活動と卒業研究で不安だらけですが、地域の人たちとの交流で得た社交性や協調性をバネに、大学生活最後の1年を充実させたいと思います。

バイオ・リサイクル学科  
3年 杉野 礼<sup>あや</sup>さん

私が大学に入学してから早くも2年が過ぎてしまいました。この2年を振り返ると様々なことが思い出されます。友達との出会い、弓道部への入部、高校とは違う大学の授業、資格取得のための勉強、その中で特に力を入れて取り組んでいるのが友達と共に一から始めた畑作業です。畑を自分たちで耕し、夏にはきゅうりやスイカ、冬には白菜や大根などどれもおいしく育てることができました。収穫した野菜はぬか漬けやタクワン、キムチなどにし、先生方にも試食してもらいました。

まだまだ野菜の育て方や収穫した野菜の利用法など課題はたくさんありますが、この作業を通じて、自分の調べたいことや試したいことを見つかることができればと思っています。



### 目指せ教職、学友会活動で貴重な体験

### 情報学部

情報工学科  
4年 吾郷<sup>あごう</sup> 光<sup>ひかる</sup>さん

入学してから3年が経ちました。進学のための目的は、高等学校教諭の教員免許状を取得することでした。情報について何も分からぬまま情報工学科に入りましたので、初めのうちは大変でした。当時の苦労は今でもよく覚えています。今ではシスコ認定資格(CCNA)の資格を取得し、情報についての知識も様々な講義の中から学ぶことができました。一方、数学は少人数クラスに分かれていたので、集中して学業に取り組めました。2、3年で基礎工業数学を受講し、工学系の数学を学べたのは私にとって大きな収穫でした。当初の目的である教員免許状を取得するため忙しい毎日ですが、それだけに充実した大学生活を送っています。



情報デザイン学科  
3年 矢尾 俊祐さん

学友会に所属し、渉外や新聞委員長を経て学友会長に就任しました。行事の計画・実施、サークル活動の支援など、全学生がキャンパスライフを謳歌できるよう日々奮闘しています。様々な活動に携わることで他の学生以上に本学を知ることが出来、また他大学の学生と交流する中で貴重な体験を得ました。今後より一層の経験を積もうと思っています。また、海外研修で訪れたドイツとオーストリアでは、メディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ」や美術館などを見学しました。この時受けた刺激が今の自分の原動力です。



## 次はどこへ？ 歴史上人物ゆかりの地を巡る

現代社会学部

現代社会学科  
3年 新宅 和貴さん



大学生活も早いもので2年が過ぎ、学業に費やす時間はもちろん、自分の為に使える時間が十分あることがわかりました。この時間を、私は出来るだけ多くの土地を巡ることに使いたいと思っています。すでに20以上の城をはじめ全国各地の名所・旧跡などを巡り、風土や歴史、自然などに接して見聞を広めてきました。映画や小説などで出会った歴史上の人物に興味を持つと、どうしてもその人物ゆかりの地を訪れてみたくなるのです。司馬遼太郎の『竜馬がゆく』を読んですっかり坂本竜馬の虜となり、桂浜の海を見ながら竜馬の志に想いを馳せました。次はどこへ行こうかと思うだけでワクワクする毎日です。

## バスケットの次は整備士国家試験だ

自動車短期大学部

自動車工業科  
2年 遠藤 祐矢さん

小さい頃から車好きで、将来も車関係の仕事をしたいと鳥取から入学しました。自分の選んだ道だし意欲的に勉強しています。理解できないところは先生方が教えてください、就職相談にも親身になって応じてくださいます。おかげさまで希望先からも内定をいただきました。またバスケットボール部に所属し、仲間たちと厳しい練習に明け暮れる毎日です。その甲斐あって、去年は全国大会に出場できました。辛くても頑張ってきてよかったと心から思っています。学校での友達以外にも仲間が増えるので、県外出身の私にとって部活は心強い存在です。整備士資格取得のための講習も始まるので、部活には可能な限り参加し、後は勉強に集中するつもりです。



## 夢くっきり、素晴らしい仲間も宝

高等学校

普通科  
2年 宮本 一葉さん



図書館司書になるという夢のため、国立大学に合格できる学力をつけたかったので、特別進学クラスへ入ることを一年の目標にしました。毎日欠かさず学習ノートに取り組み、補習にも参加して、定期考査の成績を上げるべく一生懸命勉強しました。その結果、特別進学クラスの編入試験に合格することができました。

2年生からは更に自分の夢に向かって邁進したいと思います。まだスタート地点に立ったばかりなのだとこのことを肝に銘じ、頑張ります。

総合システム科  
3年 小田賀辰弥さん

私の高校生活は充実しています。目標に向けて真剣に、一生懸命頑張れるものがあるからです。

私は硬式野球部に所属し、勉学と部活動を両立させて日夜全力投球しています。本年度から、完全下校時間が決められ、練習時間がかなり少なくなりましたが、限られた時間の中で精一杯頑張っています。

私たちには、「甲子園出場」という大きな目標があります。クラブの素晴らしい仲間たちと支え合いながら、この目標目指して、1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。



3月7日(水)、平成18年度工学部・情報学部教育ミニシンポジウムが開催されました。教育効果をさらに高めるべく、さまざまな創意工夫を施した教育プロジェクトの数々が紹介されました。本学の丁寧な教育は学生の出身高校などから評価されていますが、学生の学力向上は全教員の願うところであり、大勢の教職員が熱心に聴講しました。



産業廃棄物を原料とした工業材料の試作実習と実用化の検討

工学部バイオ・リサイクル学科准教授 山崎 勝弘



美味しそう？ 工材なんです！

バイオ・リサイクル学科では、産業廃棄物のリサイクルを体験させるために、2年次生全員を対象とした環境創生科目Ⅰの授業の中で、工業材料の試作を行いました。

実験としては、発泡スチロール粉末やPETボトル、ポリプロピレン等の廃棄された熱可塑性樹脂をバインダーとし、充填剤としては、木屑粉末、竹粉末、オカラ粉末、初殻粉末、茶殻粉末等を使用しました。これらの廃プラスチックとバイオマス系充填剤を混合し、専用金型に詰めた後、180℃程度に加熱したホットプレス機の定盤により加熱・圧縮して板材を成形しました。5～6名のグループが90分の間に、バインダーと充填剤について種類と配合を決めて熱圧成形し、成形した板材の比重を算出しました。

オカラ粉末を配合した板材は、クッキーのような香ばしい匂いがしました。グループで、他に使えるようなバイオマス系材料や、用途についてアイデアを出し合い、実用性と経済性について検討しました。

実践型ネットワーク関連技術者の育成とCCNA資格取得への支援

情報学部情報工学科教授 趙 悦

本学の情報学部ではシスコ・ネットワーキングアカデミーを導入し、世界的に認知されているネットワーク技術者資格、CCNA(Cisco Certified Network Associate)を取得させるための、実践的教育を試みています。シスコ・ネットワーキングアカデミー・プログラムのコースは、基礎コースである「セメスターⅠ」「セメスターⅡ」と、応用コースである「セメスターⅢ」「セメスターⅣ」の4部構成となっています。ローカルエリアネットワークの設計、実装、運営管理から、WAN技術までの幅広い範囲をカバーしております。基礎コースでは、ネットワーク構築のために必要な理論と機器設定の基礎を学び、応用コースでは、実際に機器を操作しながら、複数のルータとスイッチで構成されたPCネットワークの設計・構築から管理までを習得します。平成13年から開講して以来、計64名のCCNA資格合格者を出し、学生からも好評を受けています。

アニメーションを中心としたデジタル映像制作のための環境整備

情報学部情報デザイン学科講師 北市 記子



映像編集システムの講習会

情報デザイン学科では昨年、学内特別教育費の助成を受けて3号館に映像関係のスタジオを新設しました。このスタジオは、①「映像が動く」というアニメーションの原理を体験的に学ぶ場を提供すること、②最新の映像編集システムを使いこなし関連業界で即戦力として期待される人材を育成すること、の2つを主な運用目的としています。設備面では、コマ撮りアニメーション専用機「ランチボックス」や、放送局レベルの映像編集システム「Avid Xpress Pro」を導入。ハイスペックな機材を揃え本格的な映像制作を全面的にバックアップします。スタジオが稼働を始めた10月初旬、ゼミや卒業制作で使用予定の学生を対象に外部講師を招いて編集システムの基本を学ぶ講習会を実施しましたが、本格的な運用はこれからです。今後はなるべく多くの学生に積極的に活用してもらい、質の高い映像作品を世に送り出して欲しいと考えます。



# 独創的な研究 —特別研究成果発表会—

工学部  
情報学部

大  
学

平成18年度工学部・情報学部特別研究成果発表会が3月8日(木)に開かれました。学内審査により採択された研究課題(継続8件、新規12件)の成果が披露され、活発な質疑応答が行われました。ナノテクノロジーや環境問題などタイムリーで興味深い研究もあり、学会活動の活性化に加えて地元産業界との産学連携の促進が期待されます。

## ナノクリスタル核形成制御による多結晶シリコンゲルマニウム直接低温成長に関する研究

工学部電気電子工学科講師 出木 秀典

プラズマCVD法は低温で大面積に半導体薄膜を作製できるため、非晶質(アモルファス)シリコン系の太陽電池や、液晶パネルにシリコン系薄膜を形成する手法として最も多く利用されている方法です。近年、これらのデバイス性能を向上させるために非晶質シリコンよりも電子移動度の高い微結晶シリコンが利用され始めています。プラズマCVD法を用いて350℃程度の低い基板温度で微結晶膜を作製すると、堆積初期に微結晶を含まない非晶質の層(アモルファスインキュベーション層)を形成してしまい、デバイス特性を向上させる際の妨げとなるため、改善が求められています。我々は、シリコンよりも電子移動度の高いゲルマニウムを混ぜたシリコンゲルマニウムを研究材料とし、堆積初期に形成されるアモルファスインキュベーション層の形成を抑制し、直接、多結晶シリコンゲルマニウムを成長させるための研究を行っています。本年度は、薄膜表面における化学結合状態をフーリエ赤外吸収分光装置(FT-IR)を用いて観察することにより、薄膜を堆積する際に表面付近でどのような化学結合が生じているのかを評価しました。その結果、表面付近にはSi-H<sub>2</sub>などの結合水素が膜中よりも多く存在していることが明らかになり、これら水素原子がアモルファスインキュベーション層の形成に影響を与えていることが示唆されました。



特別研究成果発表会

## 多孔質内水平気液二相流の流動および分散に関する研究

工学部機械工学科准教授 高津 康幸

昨今、クリーンで再生可能なエネルギーとして水素が注目され、燃料電池開発のための基盤研究が盛んに行われています。本研究は、燃料電池電極部拡散層での蒸気(気体)と水(液体)の混合物の流れ(気液二相流と呼びます)を明らかにするために遂行されました。一般に、拡散層は繊維状で内部は隙間だらけの構造をしており、このような構造は多孔質構造と呼ばれます。身近な例として、風邪のときに着用するマスクを思い浮かべてください。マスクを着用しても呼吸できますが、マスクの内部をどのように空気が流れているか観察するのは至難の業です。このような状況のもと、本研究室では、おそらく世界で初めて多孔質内部を通過する気液二相流の可視化に成功しました。流れのギャラリーを動画でお見せすることができないのが誠に残念ですが、表面張力が及ぼす気泡の不思議(カオス)な振る舞いなど、ゴッホの“星月夜”を観て以来の感動を覚えたものです。

最後に蛇足ですが、燃料電池電極にはプラチナが使用されるため、燃料電池普及にともないプラチナの価格高騰が見込まれます。世の女性にとっては、“環境をとるか”それとも“指輪をとるか”断腸の思いとなるかもしれません。

## 教育事前スクーリング

昨年発表された統計データ\*によれば、40%近い大学で入学予定者を集めた準備教育(プレアドミッション教育)が実施されているということです。

平成5年8月から数学の、平成7年度から英語の事前教育を実施している本学は、プレアドミッション教育先進校と言えます。その一環であるスクーリングを総合教育センターが主催し、2月10日11時から中野キャンパスで行いました。

保護者33人を含む122人の参加がありました。午前の部では、橋元純也すみや講師が「大学1年生の生活」、中村格芳まさよし講師が「大学生活で大事なこと」という題で話しました。その後、大学食堂で昼食。午後からは学科毎に別れて説明を受け、14時ごろ無事終了しました。

※(財)日本生涯学習総合研究所「大学の新生教育に関する現状調査」

# 現在進行形の「問題」に取り組む

地域国際化フォーラム・ひろしま

現代  
社会学部



基調講演

2007年2月24日(土)、「地域国際化フォーラム・ひろしま～大学と市民の役割～」が立町キャンパスで開催されました。少子高齢化と外国人労働者受入れ拡大により今後の日本社会が直面する課題のひとつ「地域国際化」をテーマに、県内で最も外国人比率が高い海田町の関係当事者を招いてパネルディスカッションを行いました。

会場の立町キャンパスには、市民や学生など約70人が集まりました。はじめに、広島県総務部秘書広報局国際室の平野勝与さんより、広島県の外国人住民施策について基調講演がありました。広島県では、2006年度から外国人相談電話を設置するなど、本格的に外国人住民施策に取り組んでいます。今後も民間の協力を得

ながら、行政の役割を果たしていきたいとのことでした。

シンポジウムでは、海田町日本人住民の佐々木正子さん、同町ブラジル人住民のアンデルソン・アラウージョさん、日本語指導ボランティアの川岡美智恵さん、そして現代社会学部の伊藤泰郎准教授が登壇し、安芸・海田エリアの地域社会における外国人「問題」について議論を交わしました。安芸区と海田町をあわせて、ブラジル人が約1,000人住んでいます。彼らの定住とそれにまつわる子どもの教育、地域住民との摩擦などは、まさに現在進行形の地域社会の「問題」であり、今後も本学部が地域貢献の第一歩として関わるべき課題だと認識しました。



パネルディスカッション

## 渾身のフィールド・ワーク勢揃い

—卒業研究発表会—

2月10日、現代社会学部の卒業研究発表会を立町キャンパスで開催しました。どの発表者もよく準備して、15分という短い時間で発表を上手にまとめてくれました。題目からもお分かりの通り、現代社会のアクチュアルな問題に取り組んだ力作揃いです。フィリピンまで現地調査に行き日本のODAがかえって住民



藤本洗さんの発表

の不满を生みだしている事例を生（せんだ）の声で示した研究や、広島大学跡地での千田わっしょい祭りが、地元住民や広大生の熱意で続けられ、毎月開催のイベントにまで発展する過程を参与



東田大樹さんの発表

観察した報告など、優れたフィールド・ワークの成果があったことを嬉しく思っています。参加者は市民も含め約60人。どこに出しても恥ずかしくない発表会であるだけに、学内外の参加者をもっと増やしていきたいものです。

発表者	題目	発表者	題目
宮崎 望	女性ファッション誌『CanCam』の研究 —カッコよく働く女性たち	藤本 <small>のりみ</small> 倫史	地域密着を軸としたプロ野球球団の新しいあり方 —広島東洋カーブを事例として
<small>おなが</small> 翁長みゆき	老後を豊かに暮らすこと —団塊世代のセカンドライフ	藤本 <small>こう</small> 洗	インドの不可触民解放運動について —アンバードカルを中心に
福永 <small>ひとし</small> 仁	コンテンツ産業におけるアニメ産業の現状と課題	東田 <small>だい</small> 大樹	現代における市民活動と行政の関係
小松 <small>さとし</small> 聖	情報化社会と生活の変化	佐々木 <small>こう</small> 功貴	ODAがフィリピンにもたらしたものの —ボホール島の事例をもとに
藤本 圭太	現代社会におけるリラクゼーションの意義と課題	古屋 <small>ひろ</small> 裕基	現代日本におけるゲームセンター事情





浜島さんの名声を慕い、学内外から聴講者が殺到

自動車整備のプロフェッショナルから経験談を伺うことで学生の意欲をさらに高めようと、特別講演会を企画しました。(株)ブリヂストン MS・MC開発本部長でF1レースタイヤメカニックの浜島裕英さんに依頼、去る12月4日(月)に実現しました。短大1年生をメインに2年生も自由参加。また大学の教員や学外からも聴講を希望する人が集まり、約200名という多数が会場に詰めかけました。多忙な時間を割き来学した浜島さんは、12月という寒冷的な季節ながらも半袖のBS用レースメカニックスタイルで登壇。強い意気込みが感じられ、学生の期待もいやがうえに膨らんだことでしょう。

「F1レースは年間16～19回行われますが、使用されるタイヤは1万2千本、テストを含めると6万本を使用します」というお話に皆びっくり。天候や路面の状況によってタイヤを使い分けないと、レースの勝敗を左右するとのことでした。F1レースや一般車

におけるタイヤの役割とその重要性、F1で優勝するためのタイヤ開発の苦労話などを交えた100分でした。

講演終了後、学生にアンケートを取りました。浜島さんの「常に情熱と挑戦の精神を忘れるな!」という言葉は多くの学生に感動を与えたようです。「タイヤが自動車にとって如何に大切かが判り就職にも役だった」「浜島さんの生き方に感銘した」等の回答もありました。

最後に、浜島さんがこれからも活躍されんことを短大部一同願っています。

注：本講演の実現には(株)ブリヂストンをはじめ、学内外の関係者にご協力を仰ぎました。心よりお礼申し上げます。



熱く語るメカニック魂

## 企業の採用試験がスタート!

—学内会社説明会—



企業が欲する人材とは?

来年春の卒業生を対象とした会社説明会(学内)が2月1日から3日間短大部で実施されました。従来のメーカー系列ディーラーや車体整備業に加え、新たに技術開発業、損保業、機械器具販売業など、約50社がそれぞれの会社概要、社員教育、入社時の待遇などを学生に説明されました。

スーツに身を固めた約120名の学生が熱心に耳を傾け、将来の進路を決めるためメモを取っていました。中には志望する企業に早々と採用試験の必要書類を渡す学生もあり、その意気込みに感心しました。

好景気を反映してか求人数も昨年に比べ増えましたが、採用担当曰く「向上心とやる気のない学生は、たとえ採用数が不足しても採用しない」とのことでした。これから就職する学生には耳は痛いかも知れませんが、頑張って一日も早く希望する会社に決まることを祈っています。卒業まで1年有余ありますが、学生の就職戦線がスタートを切りました。

(自動車短大部指定求人企業数：150社・・・19年3月20日現在)



学生たちも真剣そのもの

笑顔あふれる6年ぶりの来校  
オーストラリア姉妹校



西向寺を訪ね「仏教」を学びました

テロ・SARS・イラク戦争などの影響で6年ぶりの来校、また1週間と短い滞在期間でしたが、一行にも受け入れ側にも思い出多い有意義な日々でした。姉妹校の皆さんが口々に称えたホストファミリーの素晴らしいもてなしも特筆すべき点でしょう。その一人、永田さんの体験記を紹介します。



永田さん(前列左)ファミリーとティナ(中央)

広島駅新幹線口に降り立ったオーストラリア姉妹校一行11人は、少々不安気味でした。その後、大型ショッピングモールであるダイヤモンドシティソレイユに移動し昼食。トンカツを全員で頬張りました。皆「こんなに美味しいものを食べたことがない」と舌鼓を打っていました。

美術・陶芸・茶道・調理実習・剣道・日本史の授業で1～2年生のクラスと交流し、いつも笑い声が絶えませんでした。また遠足で神社仏閣を訪ね、日本の歴史や伝統行事、作法を学びました。



お別れパーティにて

## ティナが教えてくれたこと

普通科2年1組 永田 恵

ティナは1つ年上。とても優しく、ダンスの得意なかわいらしい女の子です。初めて過ごした日はどうしたらいいかわからず、お互いに気を遣ってばかりでした。ジェスチャーや絵、辞書などを使って会話するうち、だんだんと距離が縮まっていきました。日が経つにつれ、家族とよく外出するようになりました。宮島や広島城、平和大通りのイルミネーションを見に行き、家族が交代でカメラマンになって楽しく過ごしました。ティナはよく笑うようになり、私もつられて笑顔になっていました。私だけでなく

家族全員に笑顔が溢れました。ティナの笑顔には不思議な力があるような気がしてなりません。

最後の夜のさよならパーティはすごく嫌でした。これが終わるともう離ればなれになってしまうと考えてばかりいました。絶対泣かない、今日が最後ではないのだ、と自分に言い聞かせながらも、結局はティナに慰めてもらうことになってしまいました。家に帰ってからもなかなか眠る気になれず、遅くまで過ごしました。次の日はもうお別れです。広島駅まで行く間はほとんど話さずでした。新幹線に乗る直前にティナが涙を見せ、私はさらに泣きました。ティナとしっかり抱き合っ、最後は笑いました。

この貴重な1週間にティナから英語よりもっと大切なものを学びました。またいつか会えたらいいなと思います。ティナ、本当にありがとう。大好きだよ。



激しいトップ争い??

## 裏方のサポートで全員完走

— 一校内マラソン大会 —

生徒会顧問 大畑 恵三

3学期の生徒会行事のメインは校内マラソン大会です。生徒会役員は1月早々から体育科の先生方と打ち合わせし、前日まで準備に追われました。当日は絶好のマラソン日和。会場の坂中学校にいち早く集合した役員たちは、先生方やクラブの生徒たちにも助けられ、救護テント張り、学年・男女別のゴール作り、ゼッケン配布と大わらわでした。

9時10分、ジャージ姿の1・2年生がグラウンドに集合。開会式に続いて準備体操を行い、9時47分にスタート。男子9 Km、女子4.5Kmの森山ジョギングコース(坂町横浜)を走りました。ゴールしたランナーに着順位カードを手渡す一方、クラス毎にジュースを配るなど大忙しの生徒会役員。何よりの喜びは全員が事故もなく完走できたことでした。閉会式では校長が総評を述べ、各学年で上位3位までの生徒が紹介されて無事解散の運びとなりました。再び先生方やクラブの生徒たちの協力を得て後片付けを行い、12時にすべて終了することができました。

裏方として大会を支えてくれた生徒会役員たちに、顧問として大いに感謝しています。ご苦労様でした。





瀬野川河川敷にて

## 「海田町クリーン作戦」発動

保健環境部部长 瀬越 徹

1月24日(水)2時間目より「広島国際学院高等学校クリーンキャンペーン」が開始されました。昨年12月に生徒会が「いつもお世話になっている地域の人たちに恩返しをしよう」と発案・企画されたこの取り組みでは、全校生徒が通年で海田町内の清掃活動を行います。一週間に一度クラス単位で、通学路を中心にゴミを拾い集めます。1年から3年まで38クラスありますので、ちょうど年1回順番が回ってきます。

初日は普通科2年9組の41名が取り組みました。中国新聞が取材に訪れ、翌1月25日の朝刊に写真入りで掲載されました。同じくRCC(中国放送)にも取り上げられ、生徒へのインタビューなどが朝のラジオ番組で生放送されました。

授業時間を利用して実施するため、1時間の正規授業をカットすることになります。しかし、生き生きと積極的に活動する生徒たちに接して、教育は教室やグラウンドだけで行われるものではないということを改めて実感しました。



美しい心、美しい笑顔



生徒会・保健委員長  
平本 哲也

ゴミ袋を手に海田町内を歩いてびっくりしました。通学路周辺に想像以上にゴミが散乱していたからです。また、瀬野川河川敷にも多くのゴミが待ち受けていました。

クラスの仲間と懸命にゴミを拾いました。全員が一致団結したため、ゴミ袋の山がたくさんできました。校内で分別し、全て終了した後はさわやかな充実感が残りました。今後もずっと継続していけば、日頃迷惑をかけ、お世話になっている町に少しでも恩返しができると思います。

## われらの海田町を「いつも美しい町に」

## 2007年度入学試験

2月2日に推薦試験を、同15・16日に一般試験を実施しました。推薦試験は雨模様でしたが、一般試験は2日間とも穏やかな受験日和に恵まれました。

一般試験当日の朝、校門前では塾の先生方が受験生を激励していました。15日の試験終了後には、本校から海田市駅まで受験生の列が延々と連なり、各所で交通渋滞を起すほどでした。今回の受験者は実に約1,700人を数えました。

4月にはまた新入生が入学して来ます。保護者をはじめ各方面からの期待に応えられるよう、今後も教職員が一体となり「明るく楽しい」「教育内容の充実した」学校作りに専念いたします。



続々と詰めかける受験生

## 冬、救命へ願い熱く 一平成18年度献血活動一

保健環境部部长 瀬越 徹

1月16日(火)17日(水)の2日間、校内献血を実施しました。受付人数は生徒、保護者および教職員224名(昨年比+53名)に上り、うち166名が献血しました。当初は申し込み予約が少なく不安だったのですが、途中から希望者が増え、実施時間を延長しなければならないほどでした。最も血液の不足する冬場のことでもあり、日本赤十字社の方も大変感謝されていました。

これは生徒たちの「命」が救われることへの正に善意の気持ちであり、真の願いであると思います。とりわけ3年生の参加が多かったことに、社会に貢献したいという思いが表れていると感じました。



充実した一時デス



普通科2年8組  
中田 早紀

今回、生まれて初めて献血を経験しました。テレビのニュースで血液が不足していることは知っていました。自分とは関わりのないこととしてその時は見過ごしていたのですが、学校で献血に取り組んでいると知り、急に関心を持ち始めました。

最初は少し怖かったけれど、自分の血液で誰かの命が救われると思うと痛さよりむしろ充足感がこみあげてきました。このような学校行事が継続され、一人でも多くの困った人を救ってあげられたらいいなと思いました。

## 献血に参加して「命」の実感

# 本学院学生生徒の活躍 — 栄光を称える —

平成18年度も本学院の学生や生徒がサークル、部活動で大活躍し、数々の賞を獲得しました。主だった成績をご紹介します。



中国大会を制したバスケットボール部



4年連続で金賞を獲得した吹奏楽部

## 【大学】平成18年度部活動成績

サークル名	受賞者	出場大会名	成績
バスケットボール	団体	2006年度中国学生バスケットボール選手権大会秋季大会	優勝
アーチェリー	佐々木勇一 (1年)	第36回中国四国学生アーチェリー王座決定戦	8位
	瀬尾聡裕 (4年)	第6回世界学生アーチェリー選手権大会選考会	4位
	瀬尾聡裕 (4年)	第3回つま恋カップアーチェリー大会	2位
	出本敬明 (2年)	第36回中国四国学生アーチェリー個人選手権大会	3位
	松村卓浩 (2年)		6位
	松村卓浩 (2年)	平成18年度中国地区大会	1位
	出本敬明 (2年)		4位
	佐々木勇一 (1年)	第36回中国四国学生アーチェリー新人選手権大会	1位
	松永竜 (1年)		6位
杉本達哉 (1年)	7位		
ゴルフ	向井勇氣 (2年)	第24回中四国学生ゴルフ連盟会長杯争奪戦	7位
	向井勇氣 (2年)	第23回中四国学生ゴルフ王座決定戦	6位タイ

## 【高校】平成18年度理事長表彰受賞者・部活動成績優秀者

部名	個人・団体別	受賞者	出場大会名	成績
レスリング	グレコローマン	沖本直人 (2年)	第61回国民体育大会秋季大会	5位
			第22回全国高校生グレコローマンスタイル大会	8位
自転車	個人ポイントレース	野中竜馬 (2年)	第38回中国地域高等学校対抗自転車競技選手権大会	1位
	個人クラッチレース			1位
	個人ポイントレース		第41回全国都道府県対抗自転車競技大会	5位
ゴルフ	個人女子の部 (満15~17歳女子)	法崎佳成子 (2年)	第24回中国ジュニアゴルフ選手権・新人戦	1位
			第23回中国高等学校ゴルフ選手権大会	3位
吹奏楽	団体 吹奏楽の部	高校の部	第47回全日本吹奏楽コンクール中国大会	金賞



# 憧れだったプロ野球選手に！一軍を目指し全力で挑む

— 隠善智也さん、育成選手として巨人に入団 —

本学硬式野球部で大活躍し、主将も務めた隠善智也さんの読売ジャイアンツ入団が決まりました。卒業と同時のプロ入りは本学初です。

隠善さんは広島国際学院高校を経て本学に進学しました。投打に優れ、高校時代は投手・外野手さらに一塁手もこなして既に存在感を示していました。

もちろん進学後もその才能をいかに発揮。4番打者としてあるいは投手としてチームをけん引し続けました。広島六大学野球大会2003年秋季リーグで優勝。さらに2005年には春季リーグをも制し、最優秀選手賞とベストナインのダブル受賞に輝きました。同年、全日本大学野球選手権大会に初出場、大学野球の聖地・神宮球場



全国大会にて(東京ドーム)

へとチームを導きました。その後主将に指名されるに伴い、自ら率先して厳しいトレーニングに励み、全部員の模範として一層絶大な信頼を寄せられることとなりました。

早くからプロ入りを心に決めていた隠善さんは、同期の選手たちが引退した後もクラブに残留し、黙々と練習を続けました。いよいよ迎えた運命の11月21日。ドラフトの結果「巨人が育成選手として4位指名」。待ち望んでいた吉報に喜びを噛みしめました。

念願のプロ入りは果たしましたが、一軍選手として出場できるまでの道程は平坦ではありません。それでも「自分がプレーする姿をみんなに見てもらいたい」と、ねばり強く努力を重ねています。遠くない将来、グラウンドでその勇姿を見られることでしょう。

隠善さんの頑張りを長年見守り続けてきた大学の繁田正義監督と高校の長延公平監督も、惜しみないエールを送っています。



隠善さん



繁田監督

プロ野球という厳しいが憧れの世界に自ら飛び込んだのだから、今まで以上に努力してチャンスを物にしてもらいたい



長延監督

あきらめない心。絆。感謝。そして、夢=実現。

## 同窓会役員交代のお知らせ

広島国際学院大学、広島国際学院大学自動車短期大学部ならびに広島国際学院高等学校の同窓会では、役員交代がありました。それぞれ新しい体制のもと、ますます発展されますよう期待しております。会長と副会長に就任した方々をご紹介します。

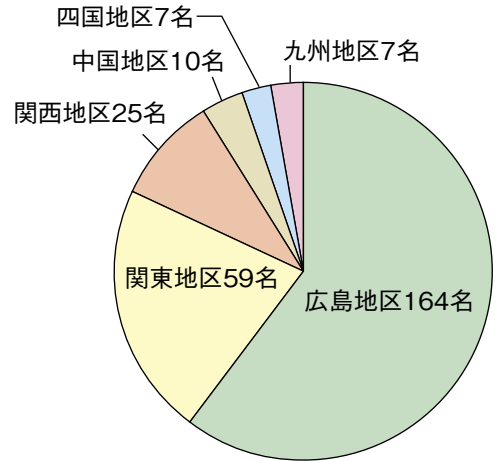
### 【学校法人広島国際学院設置校同窓会役員一覧表】

	大 学	短 大	高 校
会 長	た ま き けんじ 田 槇 憲 司	くるまだ かずあき 車 田 和 明	たけうち まさひこ 竹 内 正 彦
副 会 長	かまくら けんぞう 鎌 倉 健 造	かわぐち しゅうぞう 川 口 修 三	むらかみ のりみ 村 上 範 美
	ひゃくだ あきはる 百 田 暁 治	にしだ ゆうぞう 西 田 祐 三	はやし あきはる 林 昭 治
			おくだ こういち 奥 田 幸 一
			くどう みちよ 工 藤 三 千 代
		やまふじ ちよみ 山 藤 千 代 美	

- ・企業が求める「目標達成能力」「問題解決能力」のある人材を育成すべく、1年次から3年次まで、系統的な就職支援を展開しています。
- ・正課授業においては資格取得への取り組みも実施し、学内LANを利用した企業情報の検索システムも充実しています。
- ・就職模擬試験をはじめ面接・作文など、ベテラン担当者と教員による学生個々へのきめ細かい助言・指導を行っています。
- ・このような取り組みが評価され、近年では求人倍率は30倍以上にもなり、高い就職率を達成しています。

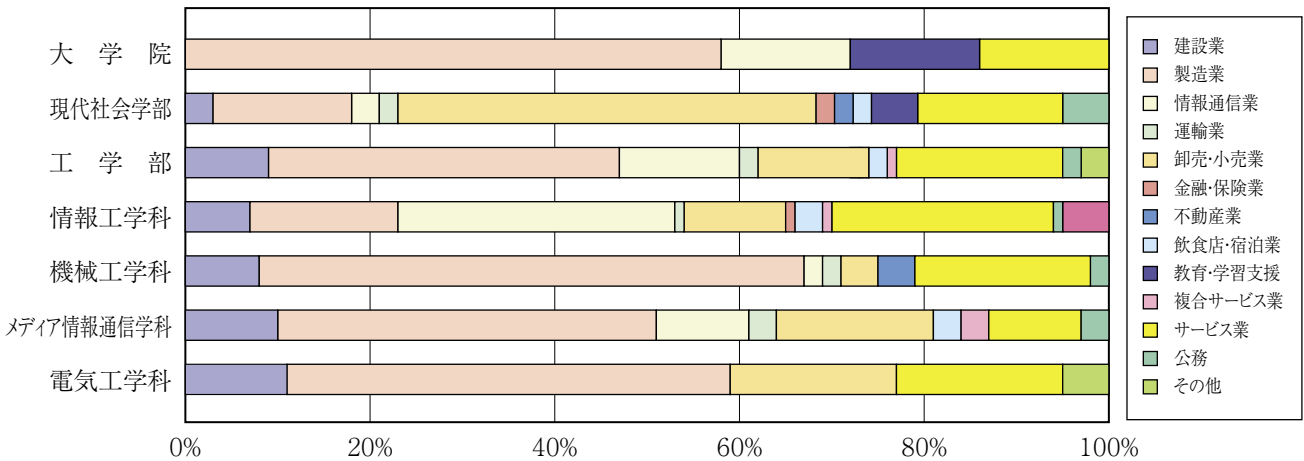
## 進路状況

項目		電気工学	情報通信	機械工学	情報工学	工学部計	現社部計	大学院
卒業・修了者総数(人)		47	40	58	93	238	78	13
就職希望者数(人)		45	34	55	81	215	73	13
採用内定者数(人)		44	29	52	74	199	66	7
就職率		97.8%	85.3%	94.5%	91.4%	92.6%	90.4%	53.8%
就職率(前年度)		100%	89.5%	100%	96.6%	96.8%	81.6%	84.6%
進学		1	2	1	2	6	2	0
求人状況	会社数	1,814	1,698	1,814	1,687	1,895	1,406	688
	求人数	1,853	1,699	1,856	1,696	7,104	1,406	692
	求人倍率	41倍	50倍	34倍	21倍	33倍	19倍	53倍



地区別就職先

## 業種別就職状況



## 学内合同企業セミナー

第1回学内合同企業セミナーは、平成14年5月に4年生を対象として開催されました。当時、中国地方では学内で合同企業説明会を開催する大学はまだ少数で、企業様のご理解を得るのに苦心しました。初めてご参加くださった企業様は2日間で20社足らずでしたが、年を追う毎に充実したものになって行きました。

去る2月1～2日の2日間にわたり催された今回、参加企業数は105社に上り、延べ340人も学生が訪れました。これはご参加戴きました企業様の一方ならぬご理解の賜物と、厚く御礼を申し上げます。また、このセミナーを皮切りとして3年生の就職活動が本格的に開始され、学生の就職意識の啓発に寄与できたと確信しています。





平成18年度

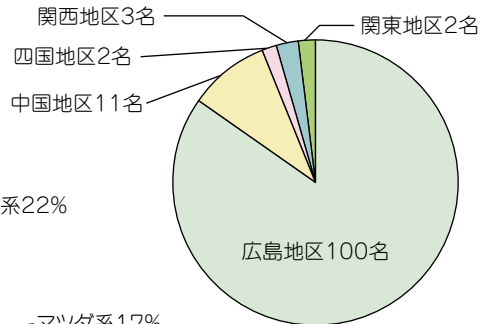
# 広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

平成19年3月19日現在

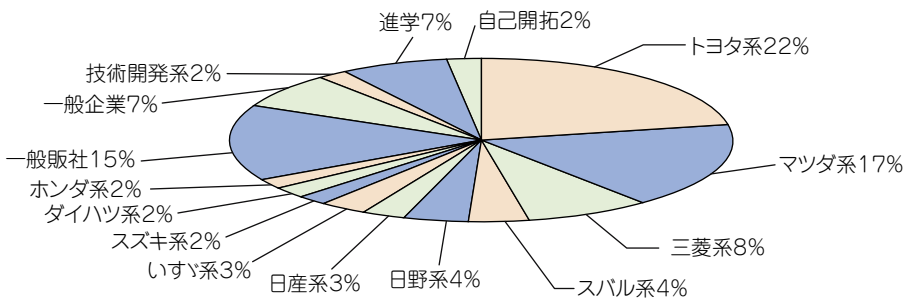
## 進路状況

卒業生数	121名
就職決定者/希望者	109名/109名
進学決定者/希望者	9名/ 9名
自己開拓	3名

## 地域別進路状況



## 卒業生の進路内訳



平成18年度

# 広島国際学院高等学校卒業生進路状況

平成19年3月19日現在

学 科	性 別	在 籍	進 学				就 職					
			大 学	短 大	専 門	未 定	県 内	県 外	公 務 員	自 営	自 己	未 定
総合システム科	男	89	43	8	10	5	12	2	1	2	2	4
	女	40	8	6	13	1	5	1			1	5
普 通 科	男	165	113	5	16	22	3		3			3
	女	201	73	39	59	13	7	1		1	1	7
合 計		495	237	58	98	41	27	4	4	3	4	19
		%	87.7				12.3					

## 大学・短期大学 合格先

	大 学	短 期 大 学
中四国	愛媛大、エリザベト音楽大、岡山商科大、岡山理科大、尾道大、川崎医療福祉大、吉備国際大、倉敷芸術科学大、くらしき作陽大、呉大、県立広島大、四国大、徳山大、比治山大、広島経済大、広島工業大、広島国際大、広島国際学院大、広島修道大、広島女学院大、広島市立大、広島大、広島文教女子大、福山大、福山平成大、松山大、美作大、安田女子大	岩国短大、山陽女子短大、鈴峯女子短大、比治山大短大部、下関短大、広島国際学院大自動車短大部、広島文化短大、安田女子短大
その他	愛知学院大、大阪芸術大、大阪国際大、大阪女学院大、大谷大、関西大、関西外国語大、関西学院大、北九州市立大、九州共立大、京都学園大、近畿大、神戸芸術工科大、神戸女学院大、佐賀大、城西国際大、創価大、高崎経済大、拓殖大、千葉工業大、中部大、東京理科大、姫路獨協大、福岡大、明海大、立命館大	大阪女学院短大、京都光華女子大短大部

## 専門学校 合格先

麻生ビューティカレッジ、IGL医療専門、IPC国際ペットカルチャー総合学院、穴吹デザイン専門、大阪医専、大阪モード学園、大阪リゾート&スポーツ専門、尾道市医師会看護専門、国際トリニティカレッジ、神戸医療福祉専門、高津理容美容専門、辻学園調理師専門、東放学園専門、トヨタ名古屋整備専門、ヒューマンアカデミー、広島アニマルケア専門、広島医療体育学院専門、広島会計学院、広島外語専門、広島県立広島高等技術専門、広島県理容美容専門、広島工業大学専門、広島コンピュータ専門、広島市医師会看護専門、広島自動車大学校、広島情報専門、広島情報ビジネス専門、広島市立看護専門、広島酔心調理師専門、広島製菓専門、広島電子専門、広島デンタルアカデミー専門、広島ビジネス専門、広島美容専門、広島ファッション専門、広島YMCA健康福祉専門、広島YMCA国際ビジネス専門、福岡スクールオブミュージック専門、福祉リソースカレッジ広島、ベルエポック美容専門、マインドビューティカレッジ

## 主な就職先

(株)マツダ、西日本旅客鉄道(株)、植田商店(株)、大成石油(株)、(株)むさし、(株)ツルヤ靴店、(株)コムスン、(株)かに道楽、(有)ジェイ、新明和オートエンジニアリング(株)、双葉運輸(株)、大阪ヤサカ観光バス(株)、コベルコ建機(株)、(株)山本製作所、(株)キーレックス、ジー・ピー・ダイキョー(株)、日新工機(株)、(株)ワイテック、(株)藤谷、(株)ステップ、広島エルピーダメモリ(株)、荻野工業(株)、広島伊丹電気(株)

深く大きく、年輪重ねて…

## 創立80周年記念ロゴマーク決まる

おかげさまで本学院は今年で創立80周年を迎えます。そこで系列学校の学生・生徒から記念ロゴマークを募集しました。応募総数240点の中から、出本敬明さん(情報デザイン学科)の作品が1等に選ばれました。今号から本誌の巻頭を飾るこのロゴマークは、今年度を通し本学院で発行する大学・高校案内や印刷物に使用されます。

円は大樹の年輪をイメージ。これからさらに大きく、そして深く根付いていけるようにとの思いが込められています。「最初円を二重にしたのですが俗っぽい気がしたので、切っただけなら面白いと思い決めました。技術が足りない分、アイデアで勝負しました」。受賞の報せを受けた時には驚いて「何かの間違ひではと思った」とはにかみながら語る出本さんですが、CG検定でもCG-ARTS協会賞に輝き、その実力は高く評価されています。



出本さん



ぐるりと囲んだ円は、大樹の年輪をイメージしています。これからさらに大きく、そして深く根付いていけるようにとの思いを込めています。

入賞者	1等	出本 敬明
	2等	檜垣 陽一、渡辺 裕季
	3等	太田 雄介、中野 絵里奈、大田 貴彦 張 輝、藤田 雄喜、前 寛昇
	佳作	宇山 道子 (以上 情報学部 情報デザイン学科) 武智 香織、張 夢卉 (以上 高等学校 普通科)

### 読書感想文コンクール審査結果

附属図書館長

奥田 勉

平成18年度に全学を対象に読書感想文コンクールを実施した。今回は鶴理事長や今村学長などから募った拠金で上位入賞者には豪華賞品を授与することを目玉に、夏休み及び読書週間に読んだ本の感想文を募集した。狙いは本を読む動機付けである。学生達が読書の楽しさを味わって読書の習慣を身に付ければ、コミュニケーション能力の向上も期待できる。ポスター掲示や文書配布で宣伝したが、応募者は多くなかった。上位3名の氏名等は下表の通りである。

これらの感想文は「図書館だより」No.43(平成19年2月発行)に掲載されている。今回応募が少なかったのは、当世の若者にはデジカメなどには余り執着心を持っていないことや、工学部系学生は文章を書くことを予想以上に苦手としているためと思われる。次回は賞品や感想文の形式なども検討して実施したいと考えている。

理事長賞 (デジタルカメラ)	別所 智海 (バイオ・リサイクル学科4年)
学長賞 (DVDプレーヤー)	林 瑩瑩 (現代社会学研究科博士課程前期2年)
館長賞 (MDプレーヤー)	森岡 組果 (バイオ・リサイクル学科3年)

## おめでとう熊野中学校! 第3回中学校軟式野球大会

12月9・10日、学校法人広島国際学院理事長杯中学校軟式野球大会が開催されました。第3回目となる今大会も球児たちの熱い戦いが繰り広げられました。決勝は熊野中学校と海田中学校の対戦。激闘の末、熊野が海田を3-1で退け優勝しました。

参加中学校(五十音順)【ご協力くださった中学校関係各位に厚くお礼を申し上げます】  
阿戸中学校、海田中学校、海田西中学校、熊野中学校、熊野東中学校、坂中学校、瀬野川中学校、瀬野川東中学校、府中中学校、府中緑ヶ丘中学校、船越中学校、矢野中学校

※中学校軟式野球大会の試合結果などはホームページでご覧になれます。  
[http://www.nkc.hkg.ac.jp/~baseball/event/junior\\_fair/06/index.html](http://www.nkc.hkg.ac.jp/~baseball/event/junior_fair/06/index.html)



息詰まる熱戦

### ★ 今後の主な行事予定

大学・短大 入学宣誓式 (4/5) ガイダンス (大・4/6~10 短・4/6~7)  
高 校 始業式 (4/7) 入学式 (4/8) 体育祭 (6/16)

この広報誌はホームページでご覧になれます。

<http://office.hkg.ac.jp/~kikaku/kouhou/>